

大里駅の取り扱いについて

1. 協議事項

コミュニティバス接続便乗り場の設置条件の見直し

2. 第1回会議における主な意見

- バスを利用して鉄道駅まで行く方は多いと思われるので、もっと鉄道駅を活用できるように考えていくべき。
- 大里駅に限らず、他の鉄道駅への設置も検討して欲しい。
- △ 大里駅に接続便乗り場を設置した場合、他の鉄道駅への設置も議論となる可能性がある。
- △ バス事業以外に「稲沢おでかけタクシー事業」も実施しており、そちらを利用して大里駅へ行く人もいると思う。各事業により利用者の負担額が異なるため、不公平感が出ないように整理する必要がある。
- △ 大里駅に接続便乗り場を設置した場合、運行経費がいくら掛かるのか。
- △ コミュニティバス「接続便」である以上、バスに接続することが大前提であると思う。
- △ 現在の接続便の利用件数は非常に少ないため、「接続便のあり方」も議論していく必要があるのではないか。

3. コミュニティバス接続便について

(1) 事業の趣旨

半径 500m以内に「鉄道駅、バス停留所、バス接続便乗り場」が無い区域は交通空白地とみなし、その対応措置として接続便乗り場を設置している。

(2) 今回の協議に至った要因

現在のところ、事業の趣旨のとおり、鉄道駅には接続便乗り場を設置していない一方で、従来、バス路線を見直す際に、住民の公共交通手段を補償する観点から、廃止となるバス停留所を接続便乗り場へ変更して対応している。

今回の見直し内容



バス停留所が設置されていた鉄道駅（大里駅）への接続便乗り場の設置に関して、対応を検討していく必要がある。

4. 参考

(1) 稲沢市の交通に係る各事業の特性

	地域の公共交通		個人の交通
	コミュニティバス	コミュニティバス接続便	稲沢おでかけタクシー
対象者	条件なし	条件なし	高齢者、障がい者、妊産婦
運行形態	路線定期運行	区域運行	区域運行
運行経費 (令和6年度)	53,089円/日 ～56,334円/日	<2km未満> 1,320円/回 <2km以上> 1,881円/回	1,553円/回 ※4月～8月平均
利用料金	200円	200円	運行経費の半額
利用者の増加に伴う市の負担	市負担額の減	市の負担額の増	市の負担額の増

(2) コミュニティバス接続便の運行に係る経費

【大里駅 ⇄ パールシティ (2キロ未満)】

1,320円/回 うち、利用者負担額200円、市負担額1,120円

【大里駅 ⇄ アクロスプラザ稲沢 (2キロ以上)】

1,881円/回 うち、利用者負担額200円、市負担額1,681円

※ 乗り合い人数 (最大4名) が増えれば市の負担額は減る。

※ 指定のバス停を経由する場合は、運行2回分の経費が掛かる。

(3) 稲沢おでかけタクシーの運行に係る経費

【大里駅 ⇄ 堀田団地 (約2.8km) ※シミュレーション】

1,530円/回 うち、利用者負担額770円、市負担額760円

(4) 稲沢おでかけタクシーにおける鉄道駅への利用実績 (全体の割合)

令和6年4月：557件 (11.0%)、5月：485件 (9.6%)

6月：487件 (9.5%)、7月：557件 (9.2%)

8月：424件 (7.7%)